

新加入 よろしく お願いします

西内荘一

このたび高退協に入れてもらいました西内です。学校事務職員として40年間勤めてきました。我ながら「よくもった」と思います。特に50歳を過ぎた頃から体調を崩して何度も入院したり、周囲に迷惑をかけた。最後は息切れ寸前でした。

でもこれからは「自由だ」と思うと、あら不思議心なしか気分も良くなり出して、何も決まらずに決めていきましたが、出来ることあればやってみようかなと言っています。

励ます会の時に事務局に入ってみないかと誘われたので、ただだけ出来るか解りませんが、やってみようという気になっていきます。どうかよろしくお願いします。

先生の多忙化 解消を目指して

山崎 きよ子

いの町会議員になり4年がたち、おかげさまで2期目も当選させていただきました。この4年間、元教員として、また子育て中の議員として、教育や子育ての課題を多く取り上げて質問してきました。

子どもの医療費中学校卒業までの無料化は、議員になる前から取り組んでいた運動で、子育て中のお母さんといっしょに署名を集め、議会へ提出しました。他にも学校給食の自校方式を守る署名、いの町独自で少人数学級を求める署名も集めました。子どもの医療費について議会で繰り返し取り

きよの絵手紙通信



国民平和大行進が6月17日(土)、高知市に入りまし。梅雨といえども天候に恵まれてこの頃です。今年も、参加人数に期待！の心意気で指定の場所へ集合しました。前日に「共謀罪」が

り上げる中で実現し、たくさんのお母さん、お父さんから喜ばれています。もう一つ、この4年間私が追求し続けたのが、先生の多忙化解消です。マスコミでも「過労死ラインを超える」と報道されていますが、いの町の先生も同じ状況です。議会でも取り上げてすぐに解決できる問題ではありませんが、先生が生きていくと教育できるために、少しでも多忙化を解消したいと思っています。

私は、この4年間、後援会ニュース「きよの絵手紙通信」を発行し、現在約1000軒にお届けしています。毎回我が子の成長を「ちいさな瞳」というコーナーで紹介しています。その中で、「学校を劇場のように楽しい所、恋人に会いに行くように心ときめかすところ」という山原健二郎さんの言葉を紹介しました。私はこの言葉が好きです。先生も子どももお互いが心ときめかせて行ける学校へ、これからは頑張っていきたいと思います。

可決されたこともあり、「私達の気持ちを付度して欲しい」「許さん安倍政治」の怒りも沸点に達していました。ペナントや鶴、横断幕の準備が整うと「私達は、核廃絶を訴えています」「平和行進です。一緒に歩きましょうか」等、コールをしながら元気に目的地を目指しました。沿道から手を振る人、励ましてくれる人、また、「何ごと」と振り返る人等、反応も様々でした。目的地の丸ノ内緑地には、すでに、100名ほどが到着しており、緑の中に団体旗やペナント、メッセージ旗が、平和への願いを際立たせていました。

平和行進...高知編

別役 美佐



今、安倍首相の暴走政治で平和も国民のくらしも脅かされています。だからこそ、地方から「憲法守れ」の声をあげていかなければと強く思っています。議会内だけでなく、議会の外からも住民のみならずと一緒運動していきたいと決意を新たにしています。被爆地広島・長崎を目指す

全退教2017年度第27回定期総会

憲法と教育の正念場

橋元陽一

6月7日・8日に、全国教育文化会館・エデュカス東京で開催されました。今年も新たに愛教労働退職教職員の会と沖縄退職教職員の会の参加があり、54組織でスタートしています。松村忠臣会長のあいさつに続いて、全教副委員長権の教育破壊を許さず、憲法



全退教2017年度第27回定期総会

と子どもの権利条約に基づく教育を」と題して、中村尚史全教委員長がミニ講演を行いました。全体会は、2016年度の歩みと2017年度の方針、同決算と予算の提案が行われた後、12名の質疑討論を経て、翌日の午前中まで6つの分散会に分かれ討論と活動交流しました。討論議題は、「5月3日憲法記念日以降の情勢は緊迫重大事態に。憲法と教育の正念場。退教は何をすべきか」と、「高齢化問題にどう取り組み、いきいきとした活動をどう進めるか」の二つのテーマが設定されました。全国で会員の高齢化と組織運営の課題や会員増やしの取り組みに悩みながらも、憲法と教育を守る活動が生きていくと語られ、安倍政権の「戦争する」国づくりへの暴走をストップさせる活動を交流し合いました。そして「憲法と教育を守る」大きな輪を全国隔々への「呼びかけ」が提起され、議案と共に承認されました。「呼びかけ」は別紙でお届けします。夜は宿泊先のルポール麹町で恒例の夕食交流が開催され、ブロックごとに紹介などが楽しく行われました。全体会では三谷隆彦氏が全退教として情報交流の大切さや競争教育の弊害などについて発言し、橋元陽一はピキニ核被災ノート支援と「ピキニ核被災ノート」の購読を訴えました。今年の全退教ツアーは10月16・18日松山市で開催されます。四国ブロックからの参加は改めて呼びかけます。